

和の輪 シニアのパソコン教室

第 2 回 プログラムの起動と停止

コンピュータを操作するということは

コンピュータを操作するということを、日常の作業と比較してみましょう。

	コンピュータの操作	日常の作業(1)	日常の作業(2)	
ステップ1	道具を用意する	使用するプログラムを立ち上げる	アイロンのスイッチを入れる	トースターのスイッチを入れる
ステップ2	収納場所から素材を取り出す	フォルダからファイルを取り出す	箆笥から服を取り出す	冷蔵庫からパンを取り出す
ステップ3	素材に処理を加える	ファイルを加工する	服にアイロンをかける	パンを焼きバターを塗る
ステップ4	素材を収納場所にしまう	ファイルをフォルダに保存する	服を箆笥に戻す	パンを食べる(胃に収納する?)
ステップ5	道具を片付ける	使用したプログラムを閉じる	アイロンのスイッチを切る	トースターのスイッチを切る

このように、プログラムは道具であり、フォルダは収納場所であり、ファイルは素材であることがお分かりだと思います。いずれも、コンピュータの操作でよく使われる言葉です。

プログラムの起動

パソコンを立ち上げたとき、最初に現れる画面をデスクトップ画面といいます。ここに見えるアイコンの殆どはプログラム(道具)です。「スタート」ボタンをクリックすると、そこにも良く使われるプログラムが表示されます(スタートメニューといいます)。更に「全てのプログラム」をクリックすると、そのパソコンに搭載されている全てのプログラムが表示されます。

パソコンを使って作業する時、作業に適したプログラムを起動します。例えば文書作成は Microsoft Word だったり、表を作成する時は Microsoft Excel だったり、インターネットの閲覧は Internet Explorer だったり、という具合です。目的に適ったアイコンの上でマウスをクリックすると、プログラムが起動します。つまり道具が用意されたことになります。